

令和4年度 練馬区立開進第二中学校「学校経営計画」(概要版)

令和4年4月1日

目指す学校像 ① 生徒の笑顔にあふれ、明日も登校したくなる学校 ② 保護者にとって、安心して子供を登校させることのできる学校 ③ 地域とともに歩み、協力を得られる学校 ④ 「チーム」として、迅速に課題を解決する学校			
教育目標	自立 よく考える人になろう	勤 労 すすんで働く人になろう	協 調 ともにたすけあう人になろう
目指す生徒像	授業に集中して取り組み、仲間と協働して主体的に学び続けている生徒	夢や目標の実現に向け自ら行動し、自己肯定感を高めている生徒	自他を大切にし、先手必勝で自ら行動している生徒
重点目標	<第1学年> 姿勢を整え、集中して授業に取り組む。 <第2学年> 自ら課題を発見し解決に向けて考える。 <第3学年> 仲間と協働して課題を解決している。	<第1学年> 数か月後の具体的な姿を描き行動できる。 <第2学年> 数年後の具体的な姿を描き行動できる。 <第3学年> 数年後の具体的な姿を描き行動し改善できる。	<第1学年> 先手必勝で自らあいさつする。 <第2学年> 先手必勝で自ら仲間に声かけする。 <第3学年> 先手必勝で自ら全ての人に声かけする。
主な具体的方策	① 校長による授業観察の充実を図り、各教科で、授業のねらい、内容に応じて、学習形態(一斉・個別・協働)を明確にしてタブレット端末を活用する。 ② 教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間等との関連性を意識して、学ぶことと夢や未来を繋げる授業づくりを行う。 ③ 地域未来塾等の取り組みやタブレット端末を活用して、家庭学習の時間が少ない生徒に対する支援を強化する。 ④ 適正な評価・評定を行うために、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する際の評価資料や評価方法等の精度を高める。	① 教科等の学習と特別活動や職場体験などを関連付け、体験活動等の意義を明確にして、自分は人のために役立っているという気持ちを高める。 ② 感染症対策を講じた上で、開進二中行事の復興を図り、本校への帰属意識を高める。 ③ 生徒会活動、委員会活動、部活動の意義を明確にして、将来の夢や希望に結び付ける。 ④ 保健体育や体育的な行事で学習したことを自身の健康・体力の増進に結び付ける。 ⑤ 学校生活を通して、「生活・交通・災害」安全指導の充実を図り、危険予知能力や危険回避能力の向上を一層図る。	① 各教科・領域等の学習と人権教育の課題を関連付けた単元計画を作成し、教育活動の充実を図る。 ② 「自己肯定感を高め、多様性を認め合う生徒の育成」という東京都の人権尊重教育推進校の研究を通して、人権課題についての正しい理解と認識を深める指導を行う。 ③ いじめや不登校の未然防止に向け、全教員による見守活動や定期研修会を実施し、生徒たちの「居場所づくり」と「きずなづくり」につながる学級経営を一層進める。 ④ 関係諸機関と連携を図りながら、生徒や保護者が「いつでも」相談できる教育相談体制をつくる。
目指す教師像 ① 生徒を認め、生徒と共に学び続けることのできる教師 ② 生徒の自己実現を支援できる教師 ③ 生徒の心に寄り添うことのできる教師 ④ 教育公務員としての自覚をもって、職務を遂行する教師			

